



令和5年度 大瀬戸小学校だより 第5号

# なみ大瀬戸

かよくみんな

令和5年 7月12日 (水)

西海市立  
大瀬戸小学校

校長 前野 泰介



## 家庭学習ウィーク

夏休みまで、あと一週間となりました。学期まとめのテスト等もあり、今が一番学習に向かいやすい時期だと考えられます。

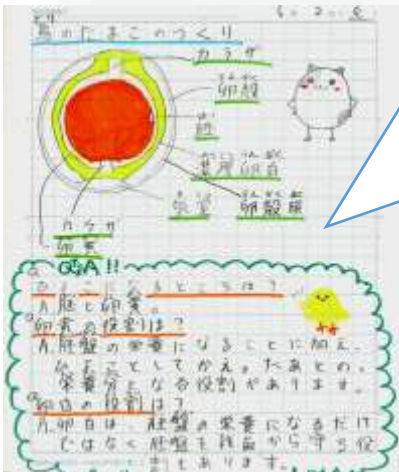
そこで、今日から、終業式までの一週間を「家庭学習ウィーク」と称し学校全体で取り組みます。特に奨励したいのは「**わくわく (自主的) 学習**」(裏面参照)の方です。そうすることが、夏休みの学習への足掛かりになると考えています。学校と家庭と両方で声掛け等を行っていきましょう。

さて、「**わくわく (自主的) 学習**」を奨励するのには訳があります。PTA総会の際にもお話ししましたが、今日は、そのよさについて、少し具体的に触れてみます。

子どもの学習意欲は、「外発的動機付け」という**外からの意欲**と、「内発的動機付け」という**内からの意欲**に分けられます。**外からの意欲**は、外部からの圧力や報酬によって生じる意欲です。「点数が悪いと叱られるから」「達成したらゲームをさせてもらえるから」等がそれに当たります。この場合、浅く短期的な学習になりがちです。叱られないと分かればそこで止めてしまったり、うまくできないと簡単にあきらめたりしてしまうと言われます。**内からの意欲**は、自分の内側から湧き出る興味関心から生じる意欲です。「なぜなのか知りたい」「もっとできるようになりたい」等がそれに当たります。この場合、深く追究する学習を持続できたり、粘り強く難しい内容に取り組んだりできるようになると言われます。

小学校では、高学年になるにつれて、内容が複雑化し深い思考力を要するようになってきます。**外からの意欲**で行う勉強が通用するのは低学年までで、**内からの意欲**で勉強する習慣がついていればいるほど、高学年の内容に対応できるようになります。

子どもたちは、やがて、社会へと巣立っていきます。PTA総会の際にお話ししたように、自ら考え、自ら判断し、自ら行動する、**社会を生き抜く力**を育むためにも、「**わくわく (自主的) 学習**」は大切だと考えています。



理科の内容を発展させた学習です。5年生で、人とメダカの誕生について学習しますが、「他の動物ではどうなっているの?」という疑問が、鳥の卵について知りたい調べたいという意欲を生んでいるはずですよ。



漢字や計算を自分で枠をつくって取り組んでいます。漢字は、ドリルの内容のうち、自分が必要だと思う部分を選択して枠をつくっているところに価値があります。

6年生のわくわく学習の事例です。さすがの内容です。よい事例は、今後も紹介します!